

文学部 国際言語・文化学科

## 国際言語・文化学科・国語科教員採用試験に向けて

教授 高木 伸幸

国際言語・文化学科では、国語科教員を目指す学生を対象とする教員採用試験勉強会を今年も開催しました。早いもので、今年で12年目に入りました。さまざまな国語試験問題を解き、中学・高校国語の教科専門試験に対応できる学力を身につけていくのが目的です。

令和3年度は4月からスタートし、新型コロナウイルス感染拡大による休止期間を除いて、7月の公立学校教員採用試験までほぼ毎週行われました。

今年度は当勉強会を受講した学生の中から、大分県公立中学校教員採用試験に現役合格1名を出すことが出来ました。また在学中に当勉強会を受講生していた既卒生も2名、公立中学校採用試験に合格しております（大分県1名、熊本市1名）。

今後も国語教員をめざす学生諸君の夢の実現に向けて活動を続けていく予定です。

文学部 史学・文化財学科

## 令和3（2021）年度 史学・文化財学科の取り組み

教授 松森 武嗣

「別府大学教員採用試験対策勉強会」は、顧問教員のアドバイスを受けながらも、「主体性」「連携」「継続性」の基本方針のもとで、中学・高校教員を目指している史学・文化財学科所属の有意な学生が参加し運営している勉強会です。

ただし、昨年度からの新型コロナ感染の沈静化が覚束ないままで新年度が始まり、夏休み前頃から若干収まってきたものの、再び後期が始まる頃にも拡大傾向を示すなど、これまで第5派にわたり続いてきた感染が漸く収まってきた11月からサークル活動も認められたため、立ち上げ13年目である令和3年度の活動状況としては、昨年度同様、まともに勉強会が実施されない状況のなかで、輪番制による模擬授業形式で教科書中心の学習を行っている。

2年にわたり勉強会活動が満足にできない状況のなかでも、目標に向かって地道に学ぼうとしている学生たちにエールを送りたいと思う。